

口銀谷の町並みをつくる会

代表者	今井 常雄
所在地	〒679-3301 兵庫県朝来市生野町口銀谷640 生野まちづくり工房井筒屋 内
設立年月日	1999年11月1日
URL	http://www7.ocn.ne.jp/~ikuno/

【設立趣旨】

生野町は兵庫県の中央部、分水嶺に位置する町です。オオサンショウウオの聖地である市川の清流や背景の緑など美しい自然と調和した鉱山町独特の町並みが特徴です。平成10年、生野町の口銀谷地域が、兵庫県の景観形成地区に指定されたことをきっかけに、口銀谷地域を中心に町並み保全活動を行っています。拠点施設は「生野まちづくり工房井筒屋」。この施設の管理運営にも関わりながら、10名の役員を中心に活動。会員数は口銀谷地域住民をはじめとする35名です。

【沿革】

大同2年(西暦807年)開坑と伝えられる生野銀山は、山名・織田・豊臣による支配を受け、江戸時代には徳川幕府の直轄地として栄え、佐渡・石見とともに歴史に名を残してきました。明治初年には日本発の官営鉱山として大規模な近代化開発がなされ、三菱財閥に払い下げられた後も、昭和48年の閉山まで日本経済を支えてきました。また、生野町は江戸からやってきた代官、全国から集まった坑夫や、明治の初めにフランスからやってきたお雇い外国人により、交流による多様な文化が醸成された町でもあります。そのような中で、生野町の町並みは、京町家風の格子や漆喰壁の町家と、明治期の洋館、社宅などが混在する独特の景観が特徴で、伝建地区のような連続性はないものの、赤瓦やカラミ石など、鉱山町独特の景観素材もあいまって、宝物探しのように散策できる町です。

【活動目的】

鉱山町としての歴史や文化に満ちた魅力ある和洋折衷の町並みを守りながら、互いに健康で暮らし、また、住む喜びを分かち合い、愛せる郷土の構築を図ることを目的としています。

【活動内容】

- (1) 口銀谷の町並みを形成する要素の調査研究及び普及
・格子や赤瓦の調査 ・広報誌による普及啓発
- (2) 町並みづくりや活性化のための行動・提言
・まちづくり提言ワークショップの開催 ・イベントの開催
・家屋修景、町並み案内などのガイドブック・パンフレット作成・配布
- (3) 講演会、シンポジウムの開催
・年1回のシンポジウムを開催。報告書の作成。
- (4) 他団体との交流
・全国町並み保存連盟への参加。他の鉱山町などとの交流。
- (5) その他目的達成に必要な事業
・景観資源の清掃活動



町並み調査活動

【活動実績】

- <平成10年>
3月 口銀谷地域が、兵庫県景観形成条例の指定地区になる
6月 地域住民と役員職員の協働による政策実行部隊「地域づくり生野塾」において、住民組織の設立に向けて検討開始
- <平成11年>
2月 「口銀谷の町並みをつくる会」設立総会(会員40名)初代会長 若木伸一氏
3月 口銀谷・町並みづくりニュースを行政から引き継ぎ独自で発行開始(現在「燻し銀」として24号まで発行中)
- <平成12年>
2月 町家訪問調査
3月 第1回生野・景観まちづくりシンポジウム開催(・お宝マップの報告・「歴史遺産を生かしたまちづくり」)
7月 地域住民に対する住宅修景説明会開催
9月 旧吉川邸再生プロジェクト・ワークショップに参画(現 生野まちづくり工房井筒屋)
- <平成13年>
3月 第2回生野・景観まちづくりシンポジウム開催(住み慣れたまちをみんなで元気にしよう!)
旧吉川邸でひな祭り開催(現在の「銀谷のひな祭り」の契機となる)
- <平成14年>
2月 赤瓦とカラミ石の調査を実施
3月 第3回生野・景観まちづくりシンポジウム開催(生野の近代化遺産と



生野・景観まちづくりシンポジウム



景観まちづくり提案ワークショップ

町並み)

- 4月 ホームページを開設
7月 全国町並み保存連盟に加盟
9月 兵庫県くすのき賞を受賞
- <平成15年>
1月 格子調査を実施
3月 第4回生野・景観まちづくりシンポジウム開催(「銀山のまちの歴史と活性化」～石見銀山と生野銀山～)
- 6月 生野まちづくり工房井筒屋 完成
7月 井筒屋にて平成15年度総会開催 第3代会長に今井常雄氏が就任
- <平成16年>
1月 町並み調査を実施
3月 第5回生野・景観まちづくりシンポジウム開催(「まちづくり提案ワークショップ」)
※この提案を基礎として町の街並み環境整備事業計画が策定され、現在も整備が進んでいる
「井筒屋でおひなさま」(現在の「銀谷のひな祭り」)開催
- 6月 ※日下旅館など4件が国登録文化財になる
- <平成17年>
3月 第2回「銀谷のひな祭り」開催
井筒屋や生野書院などで開催されてきたひな祭りを、口銀谷地域全体に広げて4日間に渡って開催
- 3月 第6回生野・景観まちづくりシンポジウム開催(町家で快適に暮らそう!)
- 3月 ※甲社宅及び漆喰土塀等が町指定文化財になる
3月 口銀谷の町並み 修景ガイドマニュアル発行
7月 平成17年度総会開催 第4代会長に今井常雄氏が再任
第1回「銀谷の七夕」を開催
- 11月 ※旧吉川家住宅:井筒屋など4件が国登録文化財になる
- <平成18年>
3月 第3回「銀谷のひな祭り」開催
3月 第7回生野・景観まちづくりシンポジウム開催(どないする? 銀谷のまちづくり)
- 7月 ※全国近代化遺産活用連絡協議会 全国フォーラム開催
- <平成19年>
3月 第8回生野・景観まちづくりシンポジウム開催(但馬の町並み・まちづくり大集合!)
- 3月 町並み散策ガイドマニュアル「いぶし銀」発行
- 7月 平成19年度総会開催 第5代会長に今井常雄氏が再任
- 8月 ※生野銀山開坑1200年記念式典
- <平成20年>
2月 町並みガイド養成講座 開催
3月 第9回生野・景観まちづくりシンポジウム開催(口銀谷のおもてなし人養成講座)
※生野まちづくり工房井筒屋が兵庫県景観形成重要建築物に指定される
- 7月 平成20年度総会開催
- <平成21年>
2月 設立10周年を迎える
3月 第5回「銀谷のひな祭り」開催
3月 第10回生野・景観まちづくりシンポジウム開催(口銀谷の景観まちづくり これまでの10年 これからの10年)
- ※ 通年の活動
・トロッコ道、生野義拳碑など歴史資源の清掃活動 ・景観資源の調査研究
・視察研修・その他井筒屋でのイベント開催(お月見・餅花づくり・七夕他)



銀谷のひな祭り



町並みガイド養成講座



もち花づくりイベント

【活動上の課題と今後の展望】

活動も10年を向かえ、会員数は設立時とほぼ同数を保っているものの、実働部隊としての役員数が減ってきており、活動そのものもマンネリ化による閉塞感に苛まれています。このような状況を打破するためにも今一度、設立時の原点に立ち返り、地域住民をはじめ自治会や他のまちづくり団体など、町のなかでの連携を深める努力をする一方で、イベントやガイドといった、「観光」という視点をもつ活動は他団体にゆだねながら、本来の目的である町並み保全のための普及啓発、会員との交流、調査活動など地道な活動に力を入れていきたいと考えています。